

2020年度(令和2年度)学校経営構想

2020年度(令和2年度)常金中学校経営構想 2-10

キーワード 挑戦

学校教育目標 立志・貢献・郷土愛

キクラちゃん

Member of United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization UNESCO Associated Schools

中学校区のめざす子ども像 郷土愛と志を持ち、深く考え、仲間とともにやり抜く子ども
福山市のめざす子ども像 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

中学校区で育成する力「21世紀型スキル&倫理観」

- 課題解決力**
 - 自ら課題を見つけ、計画を立てて、課題を解決する力。
 - 集めた情報を比較・分類・関連付けて多面的・多角的に考える力。
 - 学んだことを他の場面に役立てる力。
- コミュニケーション力**
 - 自分の思いや考えを、相手意識を持って、分かりやすく、はっきりと伝える力。
 - 意思疎通を通じて、他者とよりよい人間関係をつくる力。
- 挑戦する力**
 - 自分の決めた志や目標に向かって、失敗を恐れずに挑む力。
 - 粘り強く最後までやり遂げる力。
 - 他者と協働して物事に取り組む力。
- 地域貢献力**
 - 社会・地域とつながり、そのよきや課題を見つめる力。
 - 地域・社会の発展のために、自分のできることを考え、行動する力。

めざす成果

- すべての生徒が毎日、元気・笑顔で登校。
- 自分でやるべきこと(夢や目標)を考え、自分で選択する生徒。
- 自分の考えや思いがはつらつと言える生徒。
- 学校図書館を自分の目的に合わせて活用する生徒。
- 持続可能な地域を目指して行う貢献活動。
- 生徒は「学校が楽しい」、保護者は「常金中へ行かせてよかった」、地域は「常金中は地域に貢献している」と評価。
- すべての教職員が健康・元気で仕事にやりがい。

研究主題 「子ども主体の学び」を実現する評価と指導の在り方
～パフォーマンス課題を位置づけた単元設定とルーブリックの作成を通して～

めざす授業 自分で学びを選択できる「子ども主体の学び」
キーワード ワクワク感・生徒にゆだねる・教科の本質

取組みの重点

- 自分で学びを選択できる「子ども主体の学び」
 - ★ 精度の高いパフォーマンス課題の設定とルーブリック計画による単元づくり
 - ★ 生徒を主人公にした授業づくり
 - ★ ESDの視点で生徒が探究し行動する総合的な学習の時間
 - ★ 生徒の学びの場となる学校図書館づくり
 - ★ 生徒が計画を立て、実行し、振り返りする教育活動
- 7時間45分+月45分時間で教育水準を高める学校運営
 - ★ 組織で進める充実した教育活動の推進
 - ★ 本校の教育資産を継承・活用する共有フォルダ、共有ファイル
 - ★ 挑戦することで教師力を高める職員研修・自己研鑽
 - ★ 健康・元気・笑顔で支え合う教職員集団
 - ★ 学校・家庭・地域が分担・協力して子どもを育てる姿勢づくり

★ 学校評価とカリキュラムマップ、学校運営マップによるカリキュラムマネジメント

あるべき教職員の姿

- 方法よりも目的やゴールから常にスタートする。
- 子どもの探究意欲、地域・教職員から、共に学ぶ姿勢
- 固定概念にとらわれず、新たなことに挑戦する。
- 「私ができる・協力する・明るくする」の精神

大切にしたい学校風土/ミッション(使命)

- 学力向上に挑戦し続ける学校風土**
小規模校の良さを生かしたきめ細かい指導で、生徒の学力向上。
- 規律と温もりのある学校風土**
生徒の人間関係を、規律と温もりのある集団づくりへと進化させ、自立を支援。
- 教育研究に真摯に取り組む学校風土**
授業の質を高める先進的な教育研究で、本市中学校教育の発展に貢献。
- 地域とともにある学校風土**
郷土愛と志を持って貢献する。生徒の姿で、地域に未来への希望と勇気。

中学校区として統一した取組み

- 小中合同研修によるパフォーマンス課題を取り入れた「深い学び」のある授業づくり
- 21世紀型「スキル&倫理観」の育成を目指す小中合同運動会、「探求学習」発表会
- 「菊の里 常金丸」の伝統を受け継ぎ、地域とともに探求的に取り組む菊づくり

常金中の信条(ミッション・ステートメント)

常金中の信条(ミッション・ステートメント)

第1 常金中の使命(ミッション)は何か

- 1 小規模校の強みや優位性を生かしたきめ細かい指導により、生徒の学力向上を図ることが「本校の生命線」である。
- 2 生徒の人間関係を「規律と温もり」のある集団に進化させることにより、自立への準備をする場である。
- 3 授業の質を高める先進的な教育研究により、生徒の学力向上を図るとともに、本市中学校教育の発展に貢献する。
- 4 郷土愛と志を持って貢献する生徒の姿により、地域に未来への希望と勇気を与える。

第2 常金中のめざす生徒の姿は何か

- 1 学校教育目標は「立志・貢献・郷土愛」である。
- 2 育成する資質・能力(二十一世紀型スキル&倫理観)は「課題解決力」「コミュニケーション力」「挑戦する力」「地域貢献力」である。
- 3 これらを身に付けためざす子ども像は「郷土愛と志を持ち、深く考え、仲間とともにやり抜く子ども」である。

第3 常金中のめざす学校風土は何か

- 1 学力向上に挑戦し続ける学校風土である。
- 2 規律と温もりのある学校風土である。
- 3 教育研究に真摯に取り組む学校風土である。
- 4 地域とともにある学校風土である。

第4 常金中のめざす成果は何か

- 1 人のすべての生徒が毎日、元気・笑顔で登校している。
- 2 生徒は、自分でやるべきこと(夢や目標)を考え、自分で選択している。
- 3 生徒は、自分の考え思いがはつらつと書いている。
- 4 生徒は、学校図書館を自分の目的に合わせて活用している。
- 5 持続可能な地域を目指して貢献活動を行っている。
- 6 生徒は「学校が楽しい」、保護者は「常金中へ行かせてよかった」、地域は「常金中は地域に貢献している」と思っている。
- 7 すべての教職員が、健康元気で、仕事にやりがいを感じている。

第5 常金中のめざす授業の姿は何か

- 1 課題解決に向けて、目的や好奇心を持ち、仲間と協働・対話し、各教科等の「見方・考え方」を働かせて学んでいる授業である。キーワードは「ワクワク感・生徒にゆだねる・教科の本質」。

第6 常金中教職員のあるべき姿は何か

- 1 私たちは、「方法」よりも、常に「目的」や「ゴール」からスタートする。
- 2 私たちは、子どもの姿や保護者、地域、教職員から共に学ぶ姿勢を持つ。
- 3 私たちは、固定概念にとらわれず、新たなことに挑戦する気概をもつ。
- 4 私たちは、「私ができる・協力する・明るくする」という精神で、組織に貢献する。

第7 常金中の行動(判断)基準は何か

- 1 生徒の成長につながるものであるか。
- 2 教育公務員である教師としての責任を果たしているか。
- 3 DCAPによる工夫や改善が加わったものであるか。
- 4 「第1～第6の内容」を意識した行動ができていないか。

教育課程編成表

	国	社	数	理	音	美	保体	技	英	道	学	総	合計
第1学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
第2学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
第3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

	国	社	数	理	音	美	保体	職	英	道	学	総	生活	作業	自立	合計
特別支援	105	105	95	105	35	35	105	35	115	35	35	70	35	60	45	1015

生徒数

	男子	女子	合計
1学年	8	5	13
2学年	9	10	19
3学年	4	12	16
特別支援	1	0	1
計	22	27	49

学校運営組織図

